

山梨県衛生環境研究所年報

令和4年 第66号

Annual Report of the Yamanashi Institute
for Public Health and Environment

No. 66, 2022

山梨県衛生環境研究所

はじめに

山梨県衛生環境研究所は、公衆衛生や環境に関する県内唯一の地方衛生研究所です。県民の健康と本県の環境を守るため、感染症や食中毒の原因究明やまん延防止、食品及び医薬品の安全性の確保及び大気、水質などの汚染防止等の環境保全に関する様々な試験検査及び調査研究に取り組んでいます。

令和元年12月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生が報告され、短期間で世界中に広がりました。このような中で、当研究所においても、国の検査法を導入し、早期に検査体制を整備して検査を実施しました。令和2年3月6日、県内で初めての感染者を確認して以降、検体数は増え続け、検査機器の増設や他の所属職員の応援もいただきながら、所一丸となって対応にあたって参りました。

令和5年5月8日からCOVID-19は感染症法上の位置づけが五類に移行しましたが、高齢者施設等におけるクラスター対策としての行政検査は、継続して実施していることから、所内の感染防止対策の徹底を欠かすことは出来ない状況です。

研究所を取り巻く環境は大きく変化をしております。感染症、災害、環境等の新たな事態や多様化する行政ニーズに対応し、あらゆる課題に的確に応えることができるよう、検査体制及び調査研究の充実強化に努めていくとともに、関係機関と連携を強化しつつ、必要な情報発信に努めていきます。県民の安全を確保する科学的かつ技術的拠点としての責務を果たすため、職員一同研鑽に励みますので、一層の御理解と御支援をお願いいたします。

ここに、令和4年度の調査研究成果と業務概要を「山梨県衛生環境研究所年報第66号」としてとりまとめましたので、御高覧のうえ、御指導、御助言をいただければ幸いに存じます。

令和6年3月

山梨県衛生環境研究所
所長 内田裕之

目 次

| | | |
|-----|----------------------------------|----|
| I | 組織と沿革 | 1 |
| II | 業 務 報 告 | |
| | 企画情報科・総務スタッフ | 2 |
| | 生活科学部 | 6 |
| | 微生物部 | 8 |
| | 環境科学部 | 11 |
| III | 資 料 | 13 |
| IV | 論文抄録および学会発表 | 25 |
| V | 研 究 報 告 | 26 |
| | 山梨県におけるインフルエンザウイルスの検出状況 | 27 |
| | 山梨県における結核菌VNT R検査の実施状況について | 31 |
| | 山中湖平野ワンドにおける底質及び湖底直上水の栄養塩類水平分布特性 | 34 |
| | 山梨県内の公共用水域および農業用水中における溶存ケイ酸濃度調査 | 38 |
| | 県内「名水」の水生生物による水質評価 ー第1報ー | 43 |